

# ちゃんねる

平成28年度 第3号 2017/2/8

## ICTによる新しい学び

美郷町立千畑小学校 下田 亮

今年度も残りわずかとなりました。この冬は、雪が少なく、スキー教室の開催もぎりぎりまで心配しましたが、その後の降雪により無事実施できました。このあと、中学校は高校受験に向けての追い込み、小学校は学習のまとめや事務処理に追われる日々が続きます。皆さん、インフルエンザ等の感染症にかからないように体調管理に留意されてこれからの大切な時期を乗り切ってください。

さて、今年度は本研究会にとって、研究大会のない年でありましたが、各部門が来年度に向けてじっくりと研修に取り込んだ年でありました。特に研修部では、夏季研修で「授業のねらいを達成するためにタブレットをどう活用するか」について、タブレットの手軽さ、機能について研修しました。また、今、注目のドローンで撮影した映像が授業で使えないかを話し合い、社会科や理科での映像資料としての活用についての意見が出されました。西明寺小学校さんのご協力をいただき、多くの会員が参加された有意義な一日となりました。ありがとうございました。

ところで、最近では、「次期学習指導要領に向けて」という文言が頻繁に目に入るようになりました。注目されるキーワードは、「アクティブ・ラーニング」、「小学校における英語の教科化」そして「特別の教科 道徳」などですが、カルチャーショックを受けるほど教科内容が全面的に変わるということはありません。ところが、ICTによる「新しい学び」は、急速な情報通信技術の進展やグローバル化により、その重要性が高まる中で、私などはその指導技術に取り残されている一人です。やがて、児童・生徒用のタブレットPCが当たり前のように学校で使われるようになると、授業で紙の教科書ではないデジタル教科書を使った授業、ノートを使わない授業が展開されるのでしょうか。

本研究会でも、研究部が今年度の取り組みとして、来年度の研究大会に向けて、文科省から出された「学びのイノベーション実践報告書」等を参考に、学習場面に応じた視聴覚教材や教育機器の活用のポイントを整理して、「授業参観の視点」について検討を開始しました。

「教科や領域のねらい達成のための手だての一つとして、視聴覚教材・視聴覚機器の活用の可能性を探る」という基本的なスタンスは変わりませんが、変化の激しい社会を生きる子ども達に、「新しい学び」を提供する役割がこれからますます我々に求められてくるのではないのでしょうか。

最後になりますが、平成29年度は研究大会の年であります。南外中学校さんには、会場校としてご協力をいただく予定ですが、会場校も会員もやってよかったと思える実りある大会にしたいものです。会員の皆様には、会の運営や研究推進に積極的に関わっていただきながら、大会の成功に向けてたくさんのご協力をいただきますようお願い申し上げます。



## 1年の活動を振り返って

### 研究部 より

大仙市立大曲小学校 岸 順一郎

今年度は研究大会のない年で、研究部会では次年度会場校を南外中に依頼するにあたり視聴覚教育研究会の基本的な立ち位置の確認や、「授業の視点」の見直しなどを行った。研究部として行ったことは実質それだけだったので、以下研究部会で話題となったことや関連して考えたことなどを書いてみたい。

本会の名称にある「視聴覚教育」は、もともとはOHP、テレビ、レコーダー、最近ではPC等を「教師が効果的に活用して学習のねらいの達成に役立てる。」という意味が強い（らしい）。他方、例えば「情報教育」はいわゆる「情報活用能力」等「子どもに身に付けさせた力」にフォーカスしているようだ。言うまでもなくどちらも大切だ。最近ではセキュリティ等の問題もあって研究が機器の使い方に偏るのに難を示す人は（私も含めて）多くいる。しかし、ちょっと遠巻きに見ているとあつという間において行かれるのもこの領域の現実である。ネットの発達で手軽に情報が手に入るようにはなったのはいいが、怪しい情報と出会う確率が最近格段に上がった気がするのは私だけだろうか、などなどいろいろ考えている内に、今年も間口の広い「視聴覚教育研究会」でいきましょうということになった。「高度情報化社会」のただ中で、さまざまな意味で子ども達の笑顔のために研究に携わっている私たちに、まだまだ議論を続けていく必要があるんだなあと改めて考えた次第である。

### 研修部 より

美郷町立仙南小学校 今野 俊

今年度は教科研究会の年なので会員の皆様には個々の研修を進めていただく1年となっております。今後その研修の成果を共有できれば来年度の研究會に生かせるのではないかと考えています。

夏季研修会では、仙北市立西明寺小学校においてタブレットの活用の仕方、ドローンの映像について研修をしました。タブレットについてはこれから学校でもますます需要が高まり、活用することにより学習の質を高めたり課題解決の手段となったりすることが考えられます。研修部としても会員一人一人のニーズに合った研修内容を提供して、よりよい授業づくりの手助けになることができれば幸いです。

また、来年度の研究會に向けて「ぜひ〇〇の内容の研修を積みたい」という意見がありましたら、お知らせくださると有り難いです。

### 広報部 より

大仙市立藤木小学校 後藤晃裕

今年度の広報部の活動は、会報「ちゃんねる」の発行と、「ちょこっと情報メール」の配信でした。視聴覚研究会ホームページの更新については、この後年度内に今年度の広報をアップロードしたいと考えています。

会報の発行については、研究会のない年度でしたので、今号を含め3回行いました。タイムリーに発行できなかったという反省もありますが、会員の皆様に適切に情報をお届けしたつもりです。原稿をお引き受けくださいました皆様、ありがとうございました。

「ちょこっと情報メール」については、年明けに第1号を各校にお送りしました。「エクセルについての小技」という内容でしたがリクエストにお答えしながら、より充実した内容にしていく予定です。感想メール等、是非よろしくお願ひいたします。

※視聴覚研究会ホームページ

<http://www.edu.city.daisen.akita.jp/~senkyouken/siryousitu/sityoukaku/>

検索サイトより、「大曲仙北視聴覚研究会」というキーワードで出てきます。